



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社 魚力
コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 042-525-5600

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,057	3.9	295	26.2	441	26.5	320	41.0
2023年3月期第1四半期	8,381	4.2	234	36.5	348	38.8	227	43.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 326百万円 (94.3%) 2023年3月期第1四半期 168百万円 (73.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	23.00	
2023年3月期第1四半期	16.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,901	16,324	82.0
2023年3月期	19,688	16,332	82.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 16,310百万円 2023年3月期 16,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		24.00		24.00	48.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		24.00		24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,400	1.7	380	14.2	480	13.4	310	23.2	22.22
通期	35,300	4.6	1,220	12.3	1,440	1.5	860	7.1	61.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	14,620,000 株	2023年3月期	14,620,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	667,309 株	2023年3月期	667,309 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	13,952,691 株	2023年3月期1Q	13,950,737 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の収束を受け、対面型サービスを中心に個人消費、また、アフターコロナを見据えた企業の設備投資を起点に緩やかに回復いたしました。しかしながら、一方で、物価上昇や円安、一部の業種におけるコスト増加による企業業績の悪化、わが国以外の主要各国での金融引き締めをきっかけとする世界経済の減速が懸念されるなど、景気下振れ要因が多く見られます。収束を見通せないウクライナ情勢や、新型コロナウイルス感染症の再流行への懸念は景気の先行きに関する不透明感を濃くしております。

水産業界におきましては、地球的規模で地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において広がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。しかしながら、海外で高まる水産物需要・わが国では地球温暖化が原因とも言われる不漁による魚価高騰、原油価格上昇に起因する諸コスト増大など、当社を取り巻く経営環境はたいへん厳しい状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画（2021-2023年度）の下、チャレンジ（SDGsへの取り組み、日本の食文化の世界への普及など）、仕入・販売、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き、店舗において運営を一層効率化し、感染防止に十分配慮しながら営業の継続・強化に努力してまいりました。

このような中、第1四半期における既存店売上高が前年を上回りましたが、これは本格的な物価上昇への順応、雇用情勢改善・賃金上昇による消費者の消費マインド、購買力の高まりによるところが大きいと考えております。

なお、第2四半期においても総じて同様の傾向が続くと考えておりますが、今夏にも実行されると報じられる東京電力福島第一原子力発電所処理水放出の影響は懸念されます。

この間、小売事業で1店舗を出店する一方、1店舗を退店し、当第1四半期連結累計期間末の営業店舗数は92店舗となりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は80億57百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は2億95百万円（前年同期比26.2%増）、経常利益は4億41百万円（前年同期比26.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億20百万円（前年同期比41.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まる中、仕入・物流コストの増加に加え賃上げによる人件費の増加に対応するため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じた人員配置の下、作業オペレーションの統一化など運営の一層の効率化、資材の絞り込みなどコスト削減に取り組みながら、旬を重視し活気ある売り場をつくり商品に付加価値をつけることに努力し、特に寿司の販売強化に注力いたしました。また、仕入においてよりよい商品をより安く仕入れることに努力するとともに、ルートを組み換えによる減車など配送コストの削減に取り組みました。

新店は、2023年4月に各線蒲田駅に隣接する「グランデュオ蒲田西館」内に「グランデュオ蒲田西館店」（東京都大田区）を開店しております。一方、限られた経営資源の効率的な活用を図るため、2023年6月に「魚力海鮮寿司津田沼店」（千葉県習志野市）を退店しております。

この結果、売上高は68億57百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は3億28百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

②飲食事業

飲食事業では、2022年3月期より、各店について店舗運営を担当する店舗管理者とメニュー・調理を担当するシェフとの役割分担を明確化するなど店舗オペレーションの見直しや物流の合理化を含む構造改革に取り組んでおります。このような中、新型コロナウイルス感染症の5類移行等による来店客数の増加が後押しとなり、売上高は前年に比べ大幅に増加いたしました。一方で水道光熱費をはじめ店舗運営コストの増加が営業利益を圧迫していますが、黒字化まで今一步のところまで来ております。

この結果、売上高は3億39百万円（前年同期比15.9%増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が、米国において既存取引先への販売、また、アジアにおいて新規取引先の開拓に取り組んでおりますところ、新型コロナウイルス感染症の影響の余波により、米国既存取引先での一時的な需要の落ち込みがあり、売上高が前年を下回りました。国内ではスーパーマーケット、株式会社最上鮮魚（持分法適用関連会社）向けなど売上を伸ばしております。

この結果、売上高は8億44百万円（前年同期比29.7%減）、営業利益は26百万円（前年同期比54.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は109億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億43百万円減少いたしました。これは主に売掛金が3億41百万円減少したことによるものであります。固定資産は89億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億57百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が4億95百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は199億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億13百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は32億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が1億44百万円増加したことによるものであります。固定負債は3億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主にその他に含まれる長期前受収益が25百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は35億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億21百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は163億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が13百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.0%（前連結会計年度末は82.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2023年5月8日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,118,815	8,049,126
売掛金	2,773,760	2,432,441
商品及び製品	343,748	313,814
原材料及び貯蔵品	9,782	11,707
その他	160,367	155,127
貸倒引当金	△723	—
流動資産合計	11,405,751	10,962,219
固定資産		
有形固定資産	991,792	1,018,917
無形固定資産	26,026	24,933
投資その他の資産		
投資有価証券	5,523,997	6,019,717
その他	1,740,855	1,876,221
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,264,603	7,895,689
固定資産合計	8,282,422	8,939,539
資産合計	19,688,173	19,901,758
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,053	1,025,837
未払法人税等	203,988	183,586
賞与引当金	324,599	469,347
その他	1,345,892	1,534,492
流動負債合計	3,023,533	3,213,263
固定負債		
退職給付に係る負債	63,050	62,162
資産除去債務	244,985	246,078
その他	24,000	55,948
固定負債合計	332,036	364,188
負債合計	3,355,570	3,577,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,469,762	1,469,762
利益剰余金	13,589,568	13,575,656
自己株式	△962,059	△962,059
株主資本合計	15,660,891	15,646,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	714,244	716,276
為替換算調整勘定	△133	539
退職給付に係る調整累計額	△56,910	△53,695
その他の包括利益累計額合計	657,200	663,120
非支配株主持分	14,510	14,206
純資産合計	16,332,602	16,324,307
負債純資産合計	19,688,173	19,901,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,381,912	8,057,476
売上原価	5,170,748	4,806,504
売上総利益	3,211,164	3,250,971
販売費及び一般管理費	2,977,023	2,955,576
営業利益	234,141	295,394
営業外収益		
受取利息	6,750	986
受取配当金	41,919	50,023
助成金収入	38,732	—
持分法による投資利益	1,756	611
為替差益	58,927	48,333
投資有価証券売却益	—	65,194
貸倒引当金戻入額	—	723
その他	9,400	11,159
営業外収益合計	157,486	177,032
営業外費用		
投資有価証券評価損	17,550	500
デリバティブ評価損	25,257	30,584
その他	40	—
営業外費用合計	42,848	31,084
経常利益	348,779	441,342
特別利益		
固定資産売却益	139	0
特別利益合計	139	0
特別損失		
固定資産除却損	1,514	483
減損損失	—	11,000
特別損失合計	1,514	11,483
税金等調整前四半期純利益	347,403	429,860
法人税、住民税及び事業税	143,521	166,686
法人税等調整額	△24,520	△57,475
法人税等合計	119,000	109,210
四半期純利益	228,402	320,649
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	722	△303
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,680	320,952

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	228,402	320,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,291	2,031
為替換算調整勘定	1,208	672
退職給付に係る調整額	784	3,215
その他の包括利益合計	△60,297	5,919
四半期包括利益	168,104	326,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,382	326,872
非支配株主に係る四半期包括利益	722	△303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	6,871,786	292,770	1,201,589	8,366,146	15,766	8,381,912	—	8,381,912
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	6,871,786	292,770	1,201,589	8,366,146	15,766	8,381,912	—	8,381,912
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	19,976	19,976	4,650	24,626	△24,626	—
計	6,871,786	292,770	1,221,565	8,386,122	20,416	8,406,539	△24,626	8,381,912
セグメント利益 又は損失(△)	256,546	△17,593	58,493	297,446	9,365	306,812	△72,671	234,141

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72,671千円には、セグメント間取引消去△5,131千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△67,540千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	6,857,775	339,225	844,642	8,041,643	15,832	8,057,476	—	8,057,476
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	6,857,775	339,225	844,642	8,041,643	15,832	8,057,476	—	8,057,476
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	3,537	3,537	4,650	8,187	△8,187	—
計	6,857,775	339,225	848,180	8,045,181	20,482	8,065,664	△8,187	8,057,476
セグメント利益 又は損失 (△)	328,619	△848	26,464	354,235	9,077	363,313	△67,918	295,394

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△67,918千円には、セグメント間取引消去76千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△67,994千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。